

## Press Release



一般社団法人  
京都府タクシー協会  
Kyoto Taxi Association

(一社) 京都府タクシー協会  
令和5年9月25日

【問い合わせ先】 [Tel:075-691-6518](tel:075-691-6518) (担当: 足立)

### 京都市内の秋の観光シーズンにおける京都タクシー業界の取り組みについて

現在、観光需要の本格的な回復によって、京都市を訪れる国内外の観光客が増加傾向にあり、多客時には、玄関口である「京都駅」において、新幹線や関空からの鉄道到着直後に、観光客がタクシー乗り場に列をなす状況にあります。

また、観光客の手荷物が原因によるバスの混雑など、今後も観光客の増加が見込まれる状況において、観光課題への取り組みが求められています。

特にタクシーは、車両1台に少人数で乗車するケースも多く、さらに、タクシー乗務員数がコロナ禍で減少していることも相まって、効率的にタクシーを利用できるような方策を検討する必要があります。

そこで、京都のタクシー業界において、秋の観光シーズンに向けた観光課題を解決する施策として下記の取り組みを開始しますのでお知らせします。

#### 1. 京都駅烏丸口から金閣寺行きの乗合タクシー実証運行 (別紙1)

多客時に利用者が列をなす京都駅烏丸口のタクシー乗り場において、旅客を乗り合わせる「乗合タクシー」の実証運行を開始します。乗合タクシーの運行によって、1両に少人数で乗車していた旅客の需要を取りまとめることで、効率的な輸送を図るとともに乗り場にできる列を改善する取り組みです。

#### 2. タクシー車両を使用する「手ぶら観光」の実証運行 (別紙2)

タクシー利用者を観光地等で降ろした後、利用者の手荷物だけをタクシーに載せたまま宿泊先のホテルまで運ぶ「貨客混載」の実証運行を開始します。

このサービスの提供により、利用者の利便を向上させるとともに、手ぶら観光を促進する取り組みです。(運行事業者: (株) キャビック)

※都市部におけるタクシー車両を用いた手荷物の貨客混載事業は、この取り組みが**全国初**のサービス提供となります。

※すべてのタクシー車両が対応できるものではありません。

# 1. 京都駅烏丸口から金閣寺行の乗合タクシー実証運行

## 運行概要

- 【運行事業者】：関西タクシー（株）、都タクシー（株）、京都相互タクシー（株）  
 彌栄自動車（株）、京都第一交通（株）、京都アサヒタクシー（株）  
 帝産京都自動車（株）、（株）キャビック、ひがし都交通（株）
- 【使用車両】：各社ともジャンボタクシー車両（旅客定員9名）を使用します。
- 【実施時期】：（プレ運行）令和5年9月30日（土）～10月29日（日）の土・日・祝日  
 本格実証運行の前に、乗務員・係員の路線習熟、安全安心なサービス提供のため、プレ運行期間を設けます  
 （本格実証運行）11月3日（金）～11月12日（日）の土・日・祝日  
 11月18日（土）～11月26日（日）の毎日
- 【運行時刻】：9時台から14時台まで20便（概ね15分おき）  
 ただし、プレ運行期間中は10便（概ね30～60分おき）
- 【運行区間】：JR京都駅烏丸口タクシー乗り場から「金閣寺」行（片道運行）
- 【運賃】：大人2,000円、小人1,000円

## 経緯



○今年5月より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取扱いが「5類」に移行し、さらに8月には中国からの団体旅行が解禁されたところです。京都を訪れる国内外の観光客は引き続き増加することが予想されます。

○多客時に京都市の玄関口である「京都駅」では、新幹線や関西からの鉄道到着直後は観光客がタクシー・バス乗り場に乗車待ちの列をなす状況にあり、乗車までに時間をいただく場合があります。

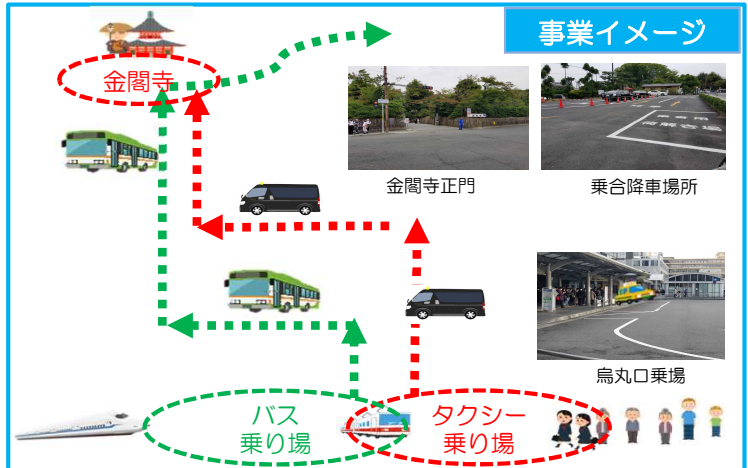
○特にタクシーは、1両に少人数で乗車するケースも多く、また、法人・個人問わずタクシー乗務員数がコロナ禍で減少していることも相まって、効率的にタクシーを利用できるような方策を検討する必要があります。



## 目的

- 秋の観光シーズンにおいて想定されるタクシー乗り場で発生する乗車待ちの改善
- タクシーに乗り合わせることで旅客の需要をまとめ効率的な運行による、実証実験データの取得
- 次年度以降、タクシー乗り場利便性向上の取組に反映するため、旅客需要をまとめることにより、発生する課題を抽出

## 事業イメージ



## 2. タクシー車両を使用する『手ぶら観光』の実証運行

### 運行事業者

事業者：株式会社キャビック 代表取締役社長 兼元 秀和  
 住所：京都市右京区梅津段町8 TEL:075-861-1188 FAX:075-881-3137  
 車両数：タクシー 111両（うち29両を使用）  
 実施時期：令和5年9月30日より受付開始し、令和5年10月6日（金）より実証運行開始

### 事業の背景

#### ○都市部におけるタクシー車両を用いた手荷物の貨客混載は全国初

昨今観光で入浴されるお客様の手荷物が原因による市バスの混雑や、コインロッカー不足等の問題が発生しています。

そこで、タクシーにご乗車いただくお客様限定で観光地等までのお送りした後、そのまま手荷物を宿泊先のホテルまで有料で輸送する貨客混載のサービスを始めたいと考えています。

何より入浴されるお客様の利便性向上に繋がり、国際観光都市京都のブランド力向上にも繋がると考えております。

### 貨客混載の実施内容

- 事前予約制とします。（流しや駅待ちの車両のサービス引き受けは不可）
- 旅客輸送後の貨物輸送のため、荷物（貨物）のみの輸送は行いません。
- 貨物料金はGoogleマップにてお客様降車地点と荷物の送り先までの直線距離を測定算出し、決定します。（1 kmまで1,500円、以降1 kmごとに700円を加算）
- 将来的にはアプリ会社等と提携し予約～支払いまでシームレスな移動サービスを実施予定。（Maas）

### 事業の流れ

- ① 乗車前にお客様よりキャビックコールセンターへ予約をいただきます。その際、迎車場所、お送り先、宿泊先、荷物個数（サイズ）を確認します。
- ② 貨物料金を算出しお客様に提示、了承頂きます。
- ③ お客様のご指定場所までお迎えにあがり、ご乗車いただき観光地までお送りします。到着時にタクシー乗車運賃と貨物料金を頂戴します。
- ④ お客様降車後、預かった手荷物をそのまま宿泊先ホテルへ配達します。
- ⑤ ホテルにて受け取り表にサインを頂き完了です。

### 事業イメージ

